

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

グループ(学校)名 北会（岐阜県立大垣北高等学校）

テーマ 生徒主体の魅力ある学校づくりと、教職員の連携方法、学校の魅力を伝える広報活動のあり方について考え、学び、実践する。

取組のポイント・成果

取組の内容とポイント

※活動の内容や期日等を具体的に記入してください。

- ① 昨年度案を作成した「グランドデザイン」を、具体的な教育活動、校務改革にいかにより具体的に近づけていくかを研究・議論した。（5月～11月）
- ② ①の成果を職員会議において提案し、実現に向けた校内の動き作りを行った。（11/14）
- ③ ①②に資する学校見学を行った。（東京都立三鷹中等教育学校・埼玉県立浦和高校。9/30～10/1）
- ④ グランドデザインに基づく新たな学校のあり方を考えるヒントとなる職員研修会（講演）を行った。（11/14）

成果

別添1）2）

今後の課題

当初、教職員の方向性を揃えるためのコーチング研修、チーム作り研修を外部委託しようと考えていたが、一般企業向け研修は最低3時間～1日かけて行うようプログラムが準備されているとのことであった。他校の事例を鑑みても、今後はいかに時間と教職員の心の余裕（研修の必要性を理解してもらうこと）を確保していくかが課題である。

今後はグランドデザインに基づく教育活動・校務を具現化する校内の動きにおいて、メンバーが他教職員の伴走者となることができるようにしたい。また、新たな活動を始めるにあたっての業務改善案を検討し、研修内容をさらに校内に還元していくことができるようにしたい。さらに、今年度はまだ取りかかることができていない広報活動の研修にも着手したい。

岐阜県立大垣北高等学校 グランドデザイン

教育目標

人間尊重を基調とし、智・徳・体の調和のとれた
たくましく豊かな人間性を育み、高い志と
グローバルな視野をもって人類・社会に貢献できる
有能な人材を育成する。

生活信条

- 誠実 何事にも真心を込めて、まじめに
- 友愛 他に対する深い思いやり
- 努力 目標を掲げ、その実現に向けて心と体をつかってつとめる

どんな生徒を
待っているか

誠実 に

様々なことを探究する
姿勢がある生徒

友愛 のこころを
もつ生徒

幅広い教養を
身につける

努力 をする生徒

生徒がどう学ぶか
生徒をどう育てるか

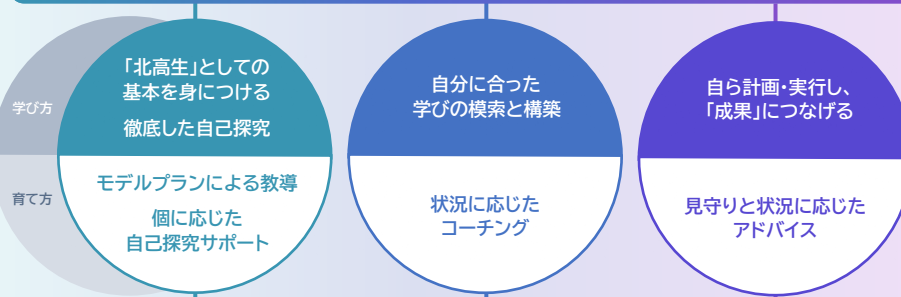
学び方・視野の広げ方を
身につける

目標を明確化し、その実現に
向けた学び方を工夫する

自分に合った学び方で
高い目標を目指す

▶ ▶ ▶ ▶ 深める・高める・広い世界に目を向ける ▶ ▶ ▶ ▶

失敗を恐れず挑戦を重ねることで、より良い道を選択・創造する



生徒の世界観を広げる機会の積極的提供
個々の生徒の挑戦に対する支援

基本的な知識を確実に習得し、論理的な思考力・洞察力・探究力を身につける授業

生徒の視野を広げ、豊かな人間性を身につける行事・生徒会活動・課外活動等

卒業時に
目指す姿

誠実 に未知に挑み、
新たな世界を
拓こうとする人

友愛 のこころをもち、
多様な人々と協働して
社会に貢献する人

努力 を重ね、
学び続ける人

高い志の実現に向かって
第一歩を踏み出す

大垣北高校の仲間・社会全体との協働

グランドデザインに基づく教育活動・校務の実現に向けて

【グランドデザイン】

11月職員会議研修・スクールミッション策定を受け、最終調整→2月職員会議で完成版を発表予定。

※現在校内で共有しているものは、R05年度より北会内・全職員での十分な議論を行って作成したものであるため、大筋は変更なしの予定。

R07年度に向けて（R06年度後期の業務提案）

1. スクールポリシー・各分掌の業務見直し

※スクールポリシー改定（案）は裏面参照。ただし、県よりスクールミッション策定を受け、スクールポリシー見直しの指示が出る可能性が高いため、明確な指示が出たのちに改定案について議論する。

①学校要覧p6・7「スクールポリシー」「教育指導の重点」を、グランドデザインと照らし合わせ、必要に応じて改定する。なお、現行のものは実情に合っていない部分や、重要事項だが教職員間で十分な共有が図られていないものもあるため、併せて全面的な見直しを行う。

② ①を踏まえ、新年度第2回職員会議資料（業務内容・分担等）の全面的見直しを行う（実情に合わせる、改善する、重要事項の教職員間での共有を十分に図ることができるようにする）。

※①②（スクールポリシーに関して除く）について、年内（12月まで）に対面分掌会を開き、1月職員会議で取りまとめを共有。詳細は教務主任より。

2. シラバス見直し

・「守破離」の考え方に基づき、科目履修終了時には、生徒が自らの目標に向けて学び、自走できるようになることを目指し、各教科で具体的な指導方針を固め、共有する。

※年内(12月まで)に対面科会を開き、1月職員会議で取りまとめを全体共有

※①「自走する（離）」とは、科各科目においては具体的にどのようなことを指すか。

② ①を実現するための具体的な方法（生徒がどのように学ぶか。守「基本を身につける」⇒破「学びの模索と構築」）を科目ごとにまとめる。（「大垣北高校における学習方法」として、「入学のしおり」等への掲載）

※詳細は教務主任より。

共有フォルダ⇒02分掌⇒13北会⇒R06 に入力ファイル（「守破離」教科別方針一覧）あり。

3. 新入生初期指導の見直し（＝「守」の重視）

・入学前の春休みは、高校生活に向けた学習を各自進める時期→現行の課題について必要に応じた見直し（量・内容）を行い、高校での学習に向けた意識づけを行う⇒「入学のしおり」改訂。

※国語（古典分野）・物理基礎等は春休み課題で高校の内容を先取りしている学校もある。

※中学校の復習＋発展的内容(含探究的内容)の課題を出し、自ら考え、学習する習慣をつける。

・ICT設定を可能な限り外注し、「大垣北高生になる指導」を行う時間を確保する。

※まずは卒業時のタブレット初期化を確実にを行うため、これに特化した校務支援員を採用する。

4. 業務の前進的削減

・保護者宛文書を「すぐる」によりデジタル配付する。※自筆サインを添えて提出が必要な文書は除く。